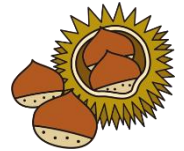




思いやりとありがとうの心で



草津市立草津第二小学校 道徳・人権通信 令和4年10月31日 NO.5

☆10月のフレンズデー 「いま どんなきもち？」

10月のフレンズデーは、いろいろな表情のイラストを見て、「こんな時、わたしは～と感じる」ということを吹き出しの中に言葉で表していきました。人はいろいろな感情を持っていて、いろいろな感情をもつことに「いい・わるい」はありません。この活動を通して「自分も周りもいろいろな気持をもつことはあたりまえなんだ」「こんな時、私や友だちはこういう風に思うんだな。いっしょの時もあるし、違う時もある」と気が付いてほしいと考えました。「うれしい・かなしい」などの他にもたくさんの気持ちを表す言葉があります。自分の気持ちをそれらの言葉に置きかえて考えたり、話したりできるようになることが大切です。自分の思いを豊かに表現してほしいです。



(資料 大阪府人権教育研究協議)

〈子どもの感想より〉

- 同じ顔（表情）を見ても、気持ちには違いがあるとわかった。たとえば、うれしい・楽しい・誇らしいなど。自分の気持ちを言葉で表して話せました。
- ぼくは今まで感情は何であるのだろうと思っていました。今日やってみて、いろいろな感情は大切だなと気が付きました。
- みんな思うことは違っても、「へーそうなんだ」と納得できたら、それは新しい考えを発見できたということだから、見せ合いっこや発表することはとてもいいことだなと思いました。
- 思ったよりいろいろな気持ちがあるのだと思いました。
- 自分の気持ちを整理すればきつとお互いに分かり合えると思いました。
- みんないろいろな気持ちがあるのだなと思いました。正解はないし、たくさんの気持ちがあるから、みんなちがってみんないいなと思いました。
- 同じ感情でも、いろいろな場面があって、個性があると感じました。逆に同じ場面でもいろいろな感情があると思うから、友だちとしゃべるときは、相手のことをしっかりわかって、自分の言葉に責任を持ちたいです。

☆いろいろな表情の絵カード（32パターン）を各教室に掲示しています。気持ちを表す言葉を得ることは、だんだんに自分の感情を豊かにし、また友だちの気持ちについても想像を膨らませることができていくと考えます。

道徳の学習から

2年生「さて、どうかな」

朝、学校で先生と会いました。「おはようございます。」と元気に挨拶をした自分。そのあと教室に入り、友だちには何も言いませんでした。遠足で集合時間に遅れたとき、「忘れ物を取りに行っていて遅れました。」と先生に言いました。そのあと、黙ってお弁当を食べ始めると、みんながこっちをじろじろと見ています。さて、どうしてでしょう。このお話を通して、それぞれの場面で何が足りなかったのかを考え、礼儀正しく接することの大切さを改めて知りました。

〈子どもたちの振り返り〉

- ・だれに対しても、同じように挨拶をすることが大切だと思った。
- ・あいての気持ちを考えることが大切だと思う。
- ・れいぎ正しくするために、挨拶はだれにでもしていきたい。



5年生「父の仕事」

主人公「ぼく」は、仕事で忙しくする父に対して不満をもっていました。しかし、父の仕事に対する心構えや思いを聞き、働くことの意義やそれに伴う責任について知ります。「ぼく」の経験を通して、仕事のやりがいや意味について考えました。

〈子どもたちの振り返り〉

- ・仕事は、お金のためだけでなく、だれかの役に立つためにすることだと思いました。
- ・責任をもって仕事をしているということを知りました。
- ・働くことは、やりがいのあることだと思いました。

